

『PCA 商魂・商管シリーズ』

Ver.1.0 Rev.6.00

プログラムでの主な機能強化・仕様変更点

THR20220228

主な機能強化・仕様変更点は以下の通りです。

操作等の詳細については、オンラインヘルプ、またはPDFマニュアルをご覧ください。

Rev. 6.00のプログラムでは、データバージョンが更新されますので、アップデート前に必ずデータのバックアップを実行してください。

■<商魂/商管 共通>

◇リブランディング対応

- ・PCAクラウド PCAサブスクのリブランディングに対応しました。

◇『PCA Hub eDOC』連携対応

- ・弊社の新しい文書管理システムである『PCA Hub eDOC』と連携するように各処理を修正しました。

◇パスワードレス認証、認証アプリケーションを利用したワンタイムパスワード認証対応

- ・独自認証の認証方式に「パスワードレス認証」と、認証アプリケーションを利用した「ワンタイムパスワード認証」を追加しました。
- ・機能の詳細、設定手順はマニュアルをご覧ください。

◇「ファイル」－「データ領域の一括バックアップ」

- ・バックアップ対象のデータ領域を選択する画面において、データ領域ごとの使用容量を表示するようにしました。

◇「ファイル」－「データ領域のリカバリ」

- ・リカバリ先選択時の「会社の扱い」で、会社を選択する際に会社名で検索できるようにしました。

◇「セキュリティ」－「システムユーザーの登録」

- ・「ユーザーレベル」に [連携ユーザー] という選択肢を追加しました。「連携ユーザー」は、公開APIを利用して作成したアプリケーションでのみ接続できるユーザーです。

◇「セキュリティ」－「処理レベルの設定」

- ・権限を設定する画面において、チェックボックスを一括で操作する「全選択」「全解除」ボタンを追加しました。

■<商魂>

◆売上傳票入力時の請求先変更機能を追加

◇「販売管理」－「売上」－「売上傳票入力」

- ・「請求先コード」を入力可能にしました。得意先マスターに設定した請求先とは異なる売上傳票を登録できるようになります。請求先を変更した伝票は、変更した請求先の請求書に載ることになります。
- ・「売上傳票チェックリスト」では、請求先コード/請求先名称を出力可能にしました。

◇「販売管理」－「売上」－「売上傳票の自動作成（契約）」、「随時」－「予約伝票」－「予約確認と本伝票作成」

- ・契約伝票の「請求先」で売上傳票を作成するようにしました。従来は、得意先マスターを参照して、その「請求先」で作成していました。

◇「販売管理」－「売上」－「売上明細表」

- ・請求先コード／請求先名称を出力可能にしました。

◇「販売管理」－「売上」－「月次実績の照会」

- ・「月次実績の訂正」機能において、得意先実績に複数の請求先実績が存在することになるため、訂正対象の請求先を選択できるようにしました。

◇「随時」－「汎用データの作成」

- ・「売上傳票データ」と「売上明細データ」の出力で、「請求先コード」を出力可能にしました。

◇「随時」－「汎用データの受入」

- ・「売上明細データ」の受け入れで、「請求先コード」を受け入れ可能にしました。

◆各処理

◇「販売管理」－「受注」－「受注明細表」「受注集計表」

- ・出力条件で「納期」を指示したときにも、ヘッダ一部の集計期間にその日付を出力するようにしました。

◇「販売管理」－「売上」－「月次売上集計表」

- ・売上傳票データから月次実績を集計する処理を設けました。月次売上表で出来なかった、得意先別商品集計等の帳票が出力可能になりました。

◇「販売管理」－「請求」－「請求書」

- ・「単票品名版<5311>」用紙で、摘要の文字数が多いと品名欄をはみ出して印刷していましたが、これを品名欄に収まるように改善しました。

◇「販売管理」－「会計」－「得意先元帳」

- ・「元帳用紙」に「応用用紙(罫線付き②)」を追加して、「商品名2」を出力するようにしました。また、「応用用紙(罫線なし)」でも出力可能にしました。
※「応用用紙(罫線付き)」は「応用用紙(罫線付き①)」と選択肢の表現を変更しました。

■<商管>

◇「仕入管理」－「発注」－「発注明細表」「発注集計表」「手配明細表」

- ・出力条件で「納期」を指示したときにも、ヘッダ一部の集計期間にその日付を出力するようにしました。

◇「仕入管理」－「仕入」－「月次仕入集計表」

- ・仕入伝票データから月次実績を集計する処理を設けました。月次仕入表で出来なかった、仕入先別商品集計等の帳票が出力可能になりました。

◇「仕入管理」－「支払」－「振込一覧表」

- ・『PCA電子通帳』のサポートが終了しましたので、『PCA電子通帳』との連動機能を削除しました。

◇「仕入管理」－「会計」－「買掛金・未払金元帳」

- ・「元帳用紙」に「応用用紙(罫線付き②)」を追加して、「商品名2」を出力するようにしました。また、「応用用紙(罫線なし)」でも出力可能にしました。

■<システムツール>

◇システム履歴の確認

- ・履歴の削除を日付指定で行うようにしました。旧リビジョンまでの削除機能は、全履歴を削除していました。

◇データベースの保守

- ・複数のデータ領域を同時に実行できるようにしました。

■<互換性に関する変更点>

◇データ領域の更新について

- ・データ領域のバージョンを「2.28」に更新しました。
- ・指示条件を保存するテーブルを変更しました。

◇APIの変更について

- ・「売上傳票API」、「伝票入力用得意先情報API」を更新しました。

◇汎用データの変更について

- ・「売上傳票データ」と「売上明細データ」に「請求先コード」を追加しました。

■<データ連携オプション>

◇売上明細データのレイアウト変更に対する修正

- ・売上明細データに「請求先コード」が追加されました。連携オプションもその対応を行いました。

■<同時入力オプション>

◇単側伝票だけを作成することを可能にしました。

- ・たとえば、「売上・仕入伝票入力」処理なら、売上傳票だけを入力して登録することができます。

◇「受注・発注伝票入力」「売上・仕入伝票入力」

- ・連動入力時の、複側伝票（発注・仕入）の仕入先を決定する仕様を変更しました。

変更前：

仕入先コード入力画面で入力した仕入先にしますが、「直前行の××情報をコピーする」の設定によっては商品の「主仕入先」を優先していました。

変更後：

仕入先コード入力画面で、「入力した仕入先にする」か、「商品の主仕入先を優先する」かの選択にしました。

◇「仕入・売上傳票入力」「売上・仕入伝票入力」

- ・本体製品と同様に、売上傳票の「請求先コード」を入力可能にしました。

◇「売上・仕入伝票一覧表」

- ・請求先コード／請求先名称を出力可能にしました。